

令和3年度 第25回田原本町地域公共交通活性化協議会 議事要旨

開催日時 令和3年5月27日 14時から14時50分

場所 田原本町役場 町民ホール

出席者 西谷委員、松石委員（代理出席）、葛本委員、井上委員、東委員（代理出席）、山田委員、上田委員（代理出席）、服部委員、大橋委員、山岡委員、中西委員、吉田委員、東委員（代理出席）、中道委員（代理出席）、牧田委員、住井委員、高江委員、工藤委員、田邊委員

1. 開会

（事務局）

第25回田原本町地域公共交通活性化協議会は、出席委員19名で委員総数の過半数の出席により会議は成立。

2. 挨拶

（住井会長）会長挨拶

3. 副会長及び監事の選任について

任期満了に伴う副会長及び監事の選任については、いずれも規約において委員の互選によるものとなっている。

《議長一任の総意あり》

副会長は、田原本町町長公室・産業建設部参事の高江委員を選任

《異議なし》

幹事は、引き続き服部委員、山岡委員を選任

《異議なし》

4. 議事

（1）令和2年度事業・会計報告及び監査報告について（資料1, 2, 3）

（事務局）

・事業報告及び会計報告について説明

令和2年度は、協議会を書面及び対面で2回開催、交通計画策定に向けた調査結果等の報告を行った。決算は会議開催に伴う経費を計上している。

（服部委員）

・監査報告

《異議なし、原案どおり承認》

(2) 交通アンケートの分析結果について(資料4-1~3)

(3) 今後の交通施策について(資料5)

(事務局)

資料4-1: 町の交通施策の背景、データ分析結果の説明及び課題の提示

- ・公共交通空白地域の存在
- ・町への来訪者に対する交通サービス
- ・タワラモントクシーの課題と財政負担

資料4-2, 3: 令和2年度に実施した交通アンケート分析結果を説明

- ・町内15歳以上の2,000人を対象に郵送によるアンケートを実施し、923人の回答があった。
- ・クロス集計として、全体とタワラモントクシー利用者との比較、免許有無での比較、年代別での比較などを行った。
- ・外出目的は、通院や買い物が多く、移動手段としては自家用車での自身または送迎によるものが多いが、一方で何らかの交通施策を必要とする回答もある。

資料5: 今後の交通施策について説明

- ・タワラモントクシー事業の継続を図るための制度の見直しの検討
- ・誰もが使える新たな移動手段の導入の検討
- 定時定路線の小型のコミュニティバスの導入検討

(東委員)

資料4-1に関してP8タワラモントクシーの出発と到着の利用割合において、その他の割合がかなり多いように見えます。把握してるもので代表的なものがあればお答えいただけますか。

(事務局)

タワラモントクシー実施にあたり、利用券に行先や乗り場の地名等の記入をタクシー事業者をお願いしており、その結果のグラフであります。その他は乗車された場所の自治会名などが記載されており様々な地名がありそれらをその他に分類した結果、多くなっている状況であります。

(中西委員)

タワラモントクシーだけではなく路線バスを出すべきだという要望が多いですが事務局として何か案はありますか。

(住井会長)

今後の交通施策の課題等の解決策の一案に定時定路線型として提案させてもらっています。タワラモトタクシーを継続しながら、誰もが使える新たな移動手段の導入の検討を進めていきたい。

(中西委員)

リハビリセンターのバスに関して何か広報されていますか。リハビリセンター行のバスが出ていることを知らない人が多い。公共交通の一つとして町が広報すればいいのでは。

(事務局)

奈良県総合リハビリテーションセンター行のバスですが、こちらは患者など来院のための無料送迎バスとして運行されており、広報等も病院のホームページ等で載せられています。

(中西委員)

そのような交通手段があるということを町としてもPRしてほしい。

(事務局)

県とも相談して検討します。

(各委員)

《原案どおり承認》

5. その他

(事務局)

資料6：国保中央病院を拠点とした地域間アクセス事業についての報告

- ・現在国保中央病院で運行されている田原本駅～病院間の無料送迎バスについて、病院の構成自治体である、広陵町、川西町、三宅町へも停留所を増やして広域運行を検討しており、今年度より実証運行を行うこととなった。

(住井会長)

本日の議題は、すべて終了し、令和2年度事業・会計報告及び監査報告、交通アンケートの分析結果、本町の交通施策について進む方向性をご提示させていただき委員の皆様方のご協力によりまして、全議案、原案どおりにご承認いただきました。

6. 閉会